

# 神庭通信

(かにわ つうしん)



平成28年度 校長室だより

第9号 H28. 12. 20



寒い日も多くなり、本格的な冬の訪れを感じる季節となりました。先月は、11月としては54年ぶりの雪が降り、学校の周りでも畑や中庭などがうっすらと白くなっていました。道路に積もることがなくてよかったです。

朝は吐く息が白く、空気も冷たくなってきていますが、ご家庭のきめ細かい配慮のもと、寒さ対策をした子どもたちが元気に登校してくる姿を見るたびに、私たちも元気をもらっています。風邪の流行る時期でもありますので、

手洗い、うがい、水分補給を心がけ、教室では換気も定期的に行って環境整備に努めています。体調管理にはいっそう配慮していきたいと思います。

## 公開授業研究会

12月14日に公開授業研究会を行いました。日常の授業をより良いものにしていくため、中原養護学校では年間を通して授業実践研究を行っています。この公開授業研究会では外部の方にもたくさんご参加いただき、ご意見をいただく良い機会となりました。今年度からは「子どもたちの自立を目指した中原の系統性のある教育を考える～キャリア教育を支援する授業改善～」をテーマに、キャリア教育の視点からの授業改善および教育の質の向上を目指しています。付箋を使ったコメント、授業改善の手立てとしての「中原版授業者アシストミーティング」の実践、「社会的職業的自立に向けた育てたいカリスト」を追加した指導案など、今年度の取り組みを公開するとともに、講師の総合教育センター横澤指導主事からいただいた貴重な指導助言を活かし、今年度の成果や課題を整理して次年度につなげていきたいと思っています。

## 井田小学校との学校間交流

今年度は全部で4回の交流を実施しました。井田小学校の4年生が中原養護学校に来校し、小学部の児童との交流活動を行いました。交流の前には、井田小学校の授業に本校小学部職員も参加して事前学習を行い、中原養護学校がどんな学校なのかをイメージしてもらいました。交流の当日、初めて会ったときには緊張感もありましたが、同じ空間、同じ時間を共に過ごし一緒に活動をする中で、相手のことがわかってくるにつれ、お互いの距離も縮まり、それぞれの表情が和んでくるのを感じました。今年度の交流は12月で終了となりましたが、また来年度に向けて計画を進めていく予定です。

## 高等部の「あいさつ運動」

12月初旬の1週間、高等部生徒による朝のあいさつ運動がありました。ふだんより早く登校してきた生徒たちは玄関や昇降口に立って、登校してくる人たちに向かって元気いっばいに「おはようございます」とあいさつをして出迎えていました。みんなを迎えるという意気込みで張り切っている表情はとても生き生きとしています。様々な学部の児童生徒や教職員と笑顔であいさつをする経験は、これから社会に出たときにも力になることでしょう。コミュニケーションの基本と言われる「あいさつ」をこれからも大切にして、明るく元気な学校をみんなで作っていききたいと改めて思いました。

さて、2学期も間もなく終業式を迎えます。皆さまにとって新しく迎える年がよい年になりますよう、心より願っております。



3学期の始業式は1月10日(火)です。  
冬休みの間、病気や事故に気をつけて  
過ごしてくださいね。  
始業式で会うのを楽しみにしています!

